

平成19年度第1回和光市男女共同参画推進審議会議事録(要約)

平成19年8月28日(火)
午前10時～12時
庁議室

出席者：諸橋会長、細尾副会長、佐藤加代子委員、渡井委員、土井委員、福島委員、
本橋委員、上原委員、佐藤小矢香委員
欠席者：木戸委員、村山委員、鶴木委員
傍聴者：なし

1 委嘱式

(1) 委嘱

——— 市長より出席各委員へ委嘱書の授与 ———

(2) 市長あいさつ

——— 市長あいさつ後、退席 ———

2 平成19年度第1回会議

事務局 平成19年度和光市男女共同参画推進審議会第1回会議を開会する。会議の議長については、和光市男女共同参画推進条例第21条第1項「審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる」となっているが、会長がまだ決まっていないので、会長が決定するまで事務局が仮に議長を務める。

(1) 委員自己紹介

(2) 事務局自己紹介

(3) 資料の確認

(4) 会長、副会長の選出

事務局 委員の互選により会長、副会長の選出をよろしく願います。

渡井委員 諸橋先生願います。

諸橋委員 私によければ。

——— 拍手・承認 ———

事務局 異議がないようなので、会長を諸橋委員に願います。

副会長の選出を願います。

なお、会長が男性なので、副会長はできれば女性の方をお願いしたい。

事務局 立候補もしくは推薦はないか。
渡井委員 細尾委員お願いします。
諸橋会長 細尾委員お願いします。
事務局 他にいますか。
細尾委員 誰もいないようであれば。

———— 拍手・承認 ————

事務局 異議がないようなので、副会長を細尾委員にお願いします。
諸橋会長 あいさつ
細尾副会長 あいさつ

(5) 和光市男女共同参画行政及び審議会の位置づけ

事務局 資料1、2に沿って説明
諸橋会長 国も県も和光市も、基本計画があり、その前提に法律があるという形態になっている。私たちはこの条例（和光市男女共同参画推進条例）の第18条に基づいて位置付けられている。今年度の議題は主に、行動計画に基づいての施策の実施についての調査と進行の管理と平成23年度に策定を予定している第3次プランを見据えての審議の2つがある。私たちはこれらを審議し、市長に答申します。
何か質問はありますか。

———— 質問なし ————

(6) 今年度の審議会の取組

事務局 資料5、3、4に沿って説明
諸橋会長 施策評価調査は毎年実施していて、わこうプランの進捗状況を各課に調査してもらっている。昨年度までの審議会で、調査票の改善点などを指摘した。今年度はこの改善された調査票を使って調査し、10月に報告される結果を我々が審議することになっている。
資料5についてのご質問等はあるか。
事務局 先ほどの説明の追加だが、今年度は各課に調査を行う前に、前回低評価をつけた2課について事前にヒアリングを行った。
諸橋会長 昨年度評価の悪かった2課とはどこか。またどのような反応だったか。
事務局 課は生涯学習課と地域振興課である。この2課は調査量が膨大で、細かいところまで把握しきれていない状況だった。また、自己に対する評価が厳しいこともあった。その課でできうる最大限の努力をきちんと評価することが重要だと話した。
諸橋会長 この件については評価票の結果が出た後に審議するということよろしいか。

———— 異議なし ————

諸橋会長 資料3・4については、子どもを対象とした意識調査で非常に珍しいケースである。これがまとまるといいデータになり、啓発にもなると思う。ま

た、わこうプラン改訂版で指標の現状値を把握していないということで、それを知るために行われた調査であるということだが、この調査が行われ結果を広くフィードバックすることにより、より一層の啓発になると思う。これについては現在分析中とのことだが、分析方法や集計方法等も含め何か意見はあるか。

- 渡井委員 小学校4年生を選んだ理由はなにか。
- 事務局 校長会で小学5年生に他課の調査依頼が集中しているとの意見があり4年生にした。
- 事務局 他の理由としては、子ども用条例パンフレットを17年度に小学校3・4年生に、18年度、19年度も引き続き小学校3年生に配っているので、その成果がアンケートに生きてくるのを見たかったこともある。
- 細尾副会長 以前子どもたちにアンケート調査をしたことがあり、予測と全く違う結果が出たことに驚いた。小さい子のほうがジェンダー意識がはっきりしており、大きい子のほうが差別がないことが分かった。なので、中学2年生と小学4年生ではなく、もっと差を広げたほうがよかったのではないか。
- 事務局 次回、このような機会があれば意見として参考にしたい。
- 佐藤(加)委員 回収率はどのくらいか。
- 事務局 学校の時間内で実施したので、ほぼ100%である。
- 諸橋会長 他に何か集計に関してなど意見はあるか。例えば、家の手伝いの数別クロス集計をして、手伝いを多くしている子どもほど、男女平等意識が高いことが分かればおもしろいと思う。また、性別役割分担意識を軸にクロス集計をすれば傾向の違いが見えてくるかもしれない。
- 事務局 クロス集計のことだが、今コンサルタントと協議中なので、意見があればぜひ頂きたい。
- 佐藤(加)委員 単純集計の結果を見てからでないとなんとも言えないのではないか。また、この結果はどのように活用されるのか。
- 事務局 活用法についても意見を伺いたい。また、結果が出たら審議していただき、第三次わこうプランの策定に役立てたい。
- 諸橋会長 回答してくれた小学4年生や中学2年生にダイジェスト版として結果を戻したり、説明会をしたりする予定はあるのか。またそのような予算はあるのか。
- 事務局 今年度については予算を取っていないが、次年度以降にフィードバックして生かしたい。
- 諸橋会長 ぜひ、子どもたちにこの結果をフィードバックすることと、協力していただいた各校の先生方に向けてのレクチャーや説明をするとよい。
- 細尾副会長 子どもたちや先生方だけでなく、保護者の方にもフィードバックするとよいのでは。
- 諸橋会長 次号のおるご～るにもこのデータが使えるかもしれない。
- 佐藤(小)委員 男女共同参画という言葉そのものの意味があまりよくわからない方が結構多いのでは。一言で男女平等といっても色々な定義があると思う。ジェン

ダーという言葉が新聞で独り歩きしているような現状もある。庁内の施策調査でも、課によって違うとらえ方をしているかもしれないと感じたのだが、学校の先生方には、どのように男女共同参画を説明しているのか。

事務局 条例を定めた段階で、基本的な考えを広報で周知した。その中では、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うことを定義としている。しかし、個人によっては分かりにくいという意見もあった。今後はなるべく分かりやすい形で伝えられるように考えていかなければならない。子どものアンケートは、「わこうさん」というキャラクターを使用するなど親しみやすいよう考慮している。

諸橋会長 いずれにしても折角パンフレットがあるので、これを使って結果をフィードバックする折などにもう一度言葉の説明をする機会があるとよい。他に意見はあるか。クロス集計案については、先ほど単純集計が終わってからという意見があったが、事務局の意見はどうか。

事務局 確かに単純集計の結果が出てからクロス集計についての意見を伺うのが筋だが、10月の下旬ごろには印刷をして冊子にしなければならない都合上、時間があまりない。よって、意見がある場合はなるべく早めに言っていたきたい。

諸橋会長 今意見が出ないようなら、後で事務局に連絡願う。
市民意識調査についての意見はあるか。
こちらは政策課との相乗りの調査で、問14からが男女共同参画の調査になっている。これも指標の現状値を知るための調査がいくつか入っているようである。

——— 意見なし ———

(7) 次回以降の審議会の予定

諸橋会長 次回は11月5日(月)10時から庁議室で行う。

閉会